

第14回「女性会員の会」報告

The women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

第124回春期大会期間中、富山大学で5月18日（土）12:00～14:30、女性会員を中心とした緩やかなネットワーク第14回女性会員の会を開催しました。参加者は女性17名（企業8、大学5、学生4）、男性応援員4名（企業3、大学1）、計21名。4か国から集まった幅広い年齢の参加者は、前回富山大会と比べ大幅に増えました。今回も託児室担当の鳥居麗子さんを中心に、託児室を計画しましたが利用はゼロでした。

毎回、元気の仲間と会えるのを楽しみにしている方々と、初参加者とともに、富山のお弁当を食べながら懇談しました。恒例のお楽しみ、富山名物白エビせんべい（準備、鈴木真由美先生）、石川・福井名物羽二重くるみ、玉うさぎ、五月ヶ瀬せんべい（準備、渡辺睦子さん）の説明を聞きながら、笑い声の絶えない会となりました。酒井 孝先生から、ジャンドゥーヤチョコレート之差入れもあり、仕事内容等話の続きは懇親会場に持ち越して、皆で楽しい時間を共有致しました。

【自己紹介：①氏名②所属③一言；苦しい状況でも研究を続ける理由を聞かせてor未来の夢と希望は？】

〈参加者の発言・感想から〉

- 今回初めて発表します。先輩が多いので頑張ります！
- 子供の誕生日と重なり、少々気が重いのですが、皆さんに会えるのを楽しみにして来しました。
- 母の働く背中を見て育ち、母のように働きたいと思っていたので、きっと心配ないと思います。私もしっかり頑張ろうと思います。
- そう聞くと…胸が一杯です。
- 芹澤先輩が憧れです。先輩のように活躍したいです！
- 渡辺さん、上田さんのような素敵な先輩たちに会えて、よかった。
- 私も先輩仲間に加われたことが嬉しいです。責任を感じますが、だからこそ頑張れる気がします。
- 大学教員になりたいと言う後輩が、夢をかなえるのを見守り励まして、いつか彼女たちにバトンを渡したいです。
- 先を行く同性の存在は、ロールモデル・メンターとして大切です。特に理工系は女性が少なく、博士課程に進む女性はさらに少ないので「憧れの先輩」は希少です。女性会



- 員の会に、よき先輩がいるのを誇りに思います。
 - 知的好奇心を抱きながら、研究が面白いと感じられるように学生の研究指導を行えるよう、日々精進したいです。
 - 少し年上の我々を見て「進学を決意した」、「一生仕事を続けたい」と学生たちの思いを聞き、女性会員の会がその趣旨を全うし、理想的な機能を果たしているのが改めてわかり、胸が熱くなりました。
 - 経歴や立場・背景・視点も異なるメンバーが参加して、それぞれが発言し、それに対し意見を述べ合い、様々な想いを共有できる会…今回も参加できよかったです。
- 最後になりましたが、大会実行委員長 松田健二先生、古井光明先生始め大会実行委員会のご配慮に感謝いたします。

世話人：関 史江

